京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ケ月前金丹五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵税一ケ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
發行所　京城西署西小門通（電話六六三）　京城新報社

雜錄

内外應酬（五）

京城曾見錄　一記者

（七）韓人實業家　韓人は體に採算家たる素質を備へてゐるやうだ、何しろ代々の國王ですら其邊に於ては頗ぶる下情に通じサセラレ、今の太皇帝陛下に於カセラレテハ特に勝れてアラセラルゝその噂がある、上此の通り、下學ばであらうか、何も彼も金錢萬能主義を以て聯繫されて居るのである、採算家たる素質を備へて居るといふのは此處の事である、隨て頗ぶる起業心に富み營成力が旺盛である、例のベセルがコーリア、デイリー、ニュースか若くはコーリア、レヴユーだつたと思ふ三四年前のこと、怨ういふことを書いた、例「韓人は由來起業心に富んでゐる、例へば茲に一韓人ありて屋上にて松茸を作る會社の創立を目論見、翌其居を出でゝ城内を勸誘し一巡したならば、其夕歸宅する時は思ふ程の株主を得、社長から重役事務員から小使まで悉く決定し得」と、但し其株金の拂込に就ては何も記して無かつた、が之れに能く似た會社は澤山有つた、而して株金の拂込みなどは多く行はれたことが無いさうな、社長副社長の大臣、副社長何の諮辨なんど廢いのをツラリ列べたものである、夫れでモノに成つたのは極めて少ない、故に多くの實業家は虛業家に變つた、實業家のまゝで落着いた重なるものは、銀行や東拓、大韓郵船の如きに腰を据へた連中のみと云つて宜しい、韓人の大實業家と云へば叙上の如きものである、日本人の高利貸と韓人の之れとは從來京城に於ける大實業家中の最大多數者の所謂實業であつたのである、而かも今とても根絶したのでは無い。

中以下の實業家は日本人の夫れと同樣であつて、韓國の此の社界に於ける中堅である、殊に彼等は先天的一種の採算家たるの素質を備へて居るので割合に面白い手腕を見せる。

（八）韓人虛業家　京城在住の韓人は極少數者を除きては恆產といふものを持たない、故に彼等は役人か然なくば虛業家の群に成るのである（此稿未完）

韓國現在と將來

△其筋に於ける調査

▲既設鐵道　韓國に於ける現在線は京釜、京義、馬山の三線と幹線と見れば京釜線は二百九十四哩三分、內草梁龍山間二百六十七哩六分、其支線たる西大門仁川間二十五哩七分、釜山草梁間一哩にして次に京義線三百九哩七分、同線中黃州より分岐して兼二浦に至る支線八哩九分及馬山線（京釜線三浪津より馬山に至る）二十五哩にして即合計六百卅八哩九分の延長線なるが目下▲工事實測中の鐵道は廿五議會に於て協贊を經昨年九月より起工し明年竣工すべき平壤鎭南浦間の所謂平南鐵道三十五哩と本期議會の協贊を經て目下再實測中なる京元鐵道の百三十六哩五分、湖南鐵道の百七十四哩五分及び湖南線と共に群山浦に至る同線支線十餘哩の內京元線は五ケ年湖南線は四ケ年の計畫なるを以て右三線完成の曉は三線の延長約三百五十哩となり現在の既設線共合計約九百九十哩の延長を見るべく尙ほ鐵道院の▲豫定計畫中に屬する平元鐵道（平壤元山間）の百哩並に北韓の會寧より淸津を經て元山に至る所謂會元鐵道三百五十哩、計四百哩を合すれば十年後の韓國は一千四百哩の延長線を有することゝなり更に將來吉會鐵道の敷設及び會元線と連絡して安奉線鴨綠江の架橋工事成らば北は安奉線より南釜山に直通すべく之れに平元平南の二線完成を告ぐる曉は韓國の東海岸と西海岸を縱斷するに至り韓國主要部分は悉く其連絡を全うすべしと

●四月中の京城氣象

京城測候所報

本月は氣候の變遷期にして高低氣壓の通過頻繁なれば天氣變り易く北西風は減退し南風之に代り氣溫は前月より著く高昇したれども上旬尙早朝氷點下に降りし日多く中旬に入り暖氣加はり百草萠芽期を催し春季の狀態に遷れり然るに十四日低氣壓突然山東省より東進せし爲め終日雪霰（終雪昨年より十一日平年より二十日早し）を降らし氣溫劇降し翌十五日未明低極零下一度八を示し且薄氷（終氷昨年より一日早く平年より四日遲し）を結べり十六日は之れに反し氣溫急昇して高極二十三度零に達し月中の兩極は此の二日間に出現し較差二十四度八に及べり其れより平均十四五度の間を上下し下旬に至り廿四日揚子江附近より三個の低氣壓日本海に向ふて續進し同日雨量二十五粍七を測り其の通過後は稍夜間の冷却緩和せられ百花爛熳の季に入れり而して氣溫は一般に昨年及平年より低く蒸發量並降水量寡く降水快晴日數は昨年に等しく又曇天日數は平年に相似たり

項目	本年	昨年	平年
平均氣溫（攝氏）	一〇、一	一〇、五	一〇、四
最高氣溫	二三、〇	二三、四	二三、五
同上起日	十六日	廿五日	三年廿五日
最低氣溫	（一）一、八	（一）二、六	（一）一、六
同上起日	十五日	十七日十六日同	三年七日十六日
蒸發量（粍）	一三二、六	一四八、一	一五三、七
降水量（粍）	三六、八	一〇六、八	六二、九
降水日數	七	七	五
快晴日數	四	四	五
曇天日數	二	一〇	二

◎新刊紹介

▲實業之世界（二週年紀念號）　例に依りて元氣倍旺盛（五月一日東京芝區三崎町實業之世界社發行本號に限り定價二十二錢）

▲藝文（一年二號）　其名の示す如く文學雜誌である桑木文學博士の「美學上の規範」島文學士の「操と劇とに就て」木上田文學士の「綜合藝術」此の外博士や學士の名をづらりと駢べて其研究を發表されてある（五月一日東京小石川小日向水道町七十三番地開成館發行定價一冊十五錢）

▲滿韓之實業（第五十三號）　瓦斯會社專務取締役岡崎遠光氏の「韓國の勞働を論ず」は注意すべく「事業觀」及び「活事業欄」等讀むべきもの多し吾人は滿韓の爲めに同誌が今の如き眞面目なる發展を希望する（五月一日京城大和町二ノ二九一滿韓實業協會發行見本一部二十五錢）

▲經濟（第一號）　十有七年間大阪商業會議所書記長の職に在りし濱田健次郎氏が「我國公私の經濟組織をして理義を經とし實利を偉とし組成せる堅實のものたらしめ從て其機能をして能く圓滿に其成果をして能く完美なるを得しむるに在り」との抱負を以て我國商工業の中心たる大阪の地に於て創刊したものである（四月二十七日大阪西區京町堀通三丁目五番地日本經濟社一部十錢）

日本銘刀傳

第百五席　津田近江之守　邑井一講演（九）



女房のれかちは早速玄關まで出迎へましてかち「オヤ貴方れ歸り遊ばせ、今日は大層れ早うございましたね　彌「ア、少し斯う氣色が惡いから中座をいたし只今立歸つたのである　かち「何う遊ばしたか、大層貴郎れ顏の色が惡いでございませんか、例年の無禮講には尙だ〱是れからが御盛んなのでございませう、殊に夜に入りましてから貴方は御城內でれ月觀などを遊ばしてどう致すと徹夜し遊ばすことも度々でございましたが　彌「イヤ今日は何だか斯う氣分が惡いから立歸つて來た、併し酒は無かつたか　かち「ハイ今日は貴郎は城內でれ召上りになると心得まして備へて置きませんでした　彌「それは困つたな　かち「なんなら買ひに遣りませう　○「それでは氣の毒だが一寸五合ばかり取寄せて呉れぬか　かち「直や直　直「ハイ、與樣れ呼びでございますか」中間の直助といふ者が其處へ遣つて參りました　かち「れ前一寸あのれ酒を取つて來てれ呉れ　直「ハイ畏まりましてございます、幾ら取つて參りませう　かち「どうか五合だけ取つて來てれ呉れ、御家內も何うも不思議に思ひましたのは今日の無禮講、城內で召上らず宅へ歸つて酒を飲まうといふのは何うしたことであらうと思ひましたが、漸うのことに中間の直助は例の酒屋へ酒を買ひに參りました　直「オイ番頭、一寸御面倒だが五合だけ量つて呉れ　番頭「ヘエ〱ヤア岡島樣の御中間ですか、此れへ入れませうかな　直「ア、それへ何うか入れて呉んな、買物帳を、それへ出しました、やがて番頭は五合量りまして德利に入れ、いま買物帳に記けて居りますと、この酒屋の庭の床几に腰を掛けた二人の中間、桝の角から頻りに飲んで居りましたが　○「オイ直公たれ前の宅の旦那は今日は歸つて居らつしやるだらう　直「ヤアれ前は伊東樣のれ屋敷に居なさる入內さんだな　入「ハ、いうの酒はお前の宅の旦那が飲むのかえ　直「さうよ、宅の旦那だつて酒を飲まねことはあるまい　入「れ前の宅の旦那は何だね辛抱強いといふのか臆病といふのか譯の分らぬ人だな　直「何だと、オイ入內可怪しなことを云ふな俺れの宅の旦那が何うしたといふんだ　入「今日の城內での騷動をれ前は行かなかつたから知るめねが、俺なぞはれ供をして今宅の旦那はれ歸りなすつた、その途中にも近藤の旦那と話をしながら歸つて來らつしやつたんだ、乃公あその途中で聞いたんだがね、今日の無禮講の席上でれ前の宅の旦那は大變に耻を辱されたんちやねねか、マア自己なら決して彼樣なことを云はれたら捨て置かね、その場で相手を斬つて了ふとか腹でも切つて了つたんだが、何にも云はないで引取つたといふのは、隨分岡島は辛抱強い男だといつて、れ前宅の旦那の噂があつたよ、俺ア旦那を屋敷へ送り届けると、一寸一杯飲みたいから此店へ來で飲んで居るんだがね　直「フウー、何ういふ騷動があつたんだ、　八「なに委しいことは知らねぇが、何でも御家老の大野樣の刀をば鑑定をなすつたんだなそれをれ前宅の旦那が褒めて居なすつから宜かつたんだが、それと贋ものだとか云つたさうですると御家老が大變に怒つて俺の刀ケ贋物といふからには汝は僞かな物を挾して居るに違ひない見せろといつてれ前の宅の旦那の刀を取寄せて引拔いたところが、その刀が錆びて居るんだらう、それから御家老が縱令小身者でも石高を取つて居る武士ではないか、斯樣な物を挾して居つて危急の時の間に合ふか汝の領つて居る知行は何のために領つて居る、汝の樣な奴は知行泥棒盜賊だぞ云つて而も滿座の中で賊呼ばりをされたんだ、するとれ前の宅の旦那は何も能う云はないで歸つたが、マアよくあれだけに辛抱したものだと云つてねいま城內かられ歸りなさる途中のれ話があつたんだが、れ前宅の旦那は屋敷へ歸つて是れから酒を飲むのか、ハハ隨分暢氣な人だな　直「エ、ーッ、何だと……それぢやア入內何かい宅の旦那は彼の家老の大野九郎兵衞といふ人に夫れだけの惡口をされなすつたのか　入「さうよ　直「ム、ー……」見る〱うちに直助の顏色は變つて參りましたが「道理でれ歸り遊ばしたときに氣相が變つて居たと思つたが、さては左樣な次第であつたか、ア、これといふものれ手許が苦しいからだ、縱令何の樣な身分に暮してたいでなさるにもせよ、大體旦那が少々强い根情のあるた方なられ金奉行を勤めて居らつしやつて幾らも融通の付く者のことだから、ヤア噴刀に噴衣ぐるみは出來ぬことはないだが毫も私のないれ方で役目に對して潔白にれ勤めなさるそれゆゑ、家は何時も借財の中で目を剝いて居らつしやるのであるが、よもや御主人の腰の物までが錆びてゐやうとは思はなかつた、我れも幼小の頃ほひより奥樣なり旦那樣なりに受けたる大恩は海よりも深し、これは一思案しなければならぬわい」と德利を携へて途中考へながらも歸つて參りまする何事を考へ付きましたか屋敷へ歸ると直樣主君より暇を取つてこの直助といふ下郎は住み馴れましたる赤穗の城下を跡になし、上方指して出立に及ぶといふ、未を想ふの一念から直助苦心をいたすの物獨語

東京電報

▲前田侯邸へ行幸　天皇陛下には十五日頃本郷なる前田侯爵邸へ行幸あらせらるゝ旨御治定相成りたり同邸にては祖先來の珍寶、能樂、横綱大相撲を御覽に供す追て皇后陛下にも行啓あらせらるべしと承はる（四日）

▲伏見宮の御訪問　伏見日英博總裁宮殿下には三日伊太利皇室を御訪問あらせられたる旨公報を以て發表せらる（同上）

▲殖民會議議員任命　殖民會議議員には滿韓、樺太、北海道長官等任命せらるべし（同上）

▲東拓移民の計畫　東洋拓殖會社にては豫て移住民獎勵の爲め便宜を圖る移民部を設置するの議ありしが愈よ總會に附議すべし

▲公債償還と金融　海軍及整理公債の一部五千四十二万圓は比較的地方申込多く今回は前回國庫債券に比較し償還迅速なるを以て數日間にして大部分を償還し得べし都鄙に於ける金融更に一層の緩和を來さん（同上）

▲陸軍省の行政整理　陸軍省の行政整理は經理局に於て調査中なるが昨今略ぼ終了したれば着々として斷行せしむべく其方針は老朽大官特進將校の大淘汰なりと聞く

▲我軍情の御下問　昨日山縣元帥、大山元帥、寺內陸相、奥參謀總長、西、大島兩特命檢閲使、乃木參議官御召命により御座所にて拜謁仰付られ軍情の御下問あり終つて本年度行ふべき特命檢閲に付軍規風紀、敎育、衞生、經理等の各要件に關し詳細の御沙汰ありたりと承る

▲伏見宮の御着英期　貞愛親王殿下には五月一日伊國チーブルスに御着二日午後四時羅馬に御到着八日英國御着の旨電報ありたり

▲秋季演習の決定　今秋岡山縣下に於て擧行せらるべき陸軍特別大演習參加師團は第五第十第十七の參ケ師團に豫後備の兵を參加せしむる事に決し其の期日は十一月十二日より十五日までの四日間とし最終十五日午前觀兵式を行はせられ午後大宴を開き知事市町村長貴衆兩院議員等へも御陪食仰付らるべし

▲侍從武官の差遣　聖上陛下の思召により侍從武官陸軍歩兵大佐上田兵吉氏に第五、六、十、十七、十二の各師團へ差遣せらる

▲板垣伯爵へ恩賜　板垣伯へ養老賜金として御手許金二万圓御下賜あらせられたり（同上）

▲工場法案の成行　工場法案は來る二十七議會に提出すべく立案中なるが一方工業協會に於ても同様の意見にて歐洲先進國の條例を調査し立案中なるが目下金子會長と理事との間に協議する所あり遲くも本月中委員會に附して之れが調査を終了すべし（同上）

▲皇室財産令の制定　皇室財産令皇室典範に依り皇室所屬會計の制度を制定し各種財產制度の管理法を制定して其の整理の統一を期する爲め皇室財産令を制定するの議あり

▲白國特使の歡迎會　小村外相は昨四日午後七時より官邸に於て白耳義特使ゴブレイ子男を正賓とし同一行及在京外國大公使を招待して盛大なる歡迎會を催したり（同上）

▲二十三珊砲の出品　我が陸軍は南京博覽會に二十三珊砲及新式山砲三十八年式銃砲及彈藥を出品したり（同上）

▲遭難者遺族に賜金　六號潜水艇沈沒の爲め死沒せる遺族に對し一時賜金の勅令本日公布されたり（同）

北京電報

▲總督後任と端方　錫東三省總督の後任として某軍機大臣は端方を推薦せんとせり（四日）

▲軍艦引上の要求　外務部は湖南地方民の憤慨を防がん爲め各國派遣の軍艦引上を要求したるが公使團は之を拒絶せり（同上）

▲湖南巡撫の嚴罰　軍機處は前湖南巡撫岑春萱の責任を調査し嚴罰することに決せり（同上）

▲長沙事件と賠償　攝政王は長沙事件損害賠償を湖南官吏に支拂はしむる樣外務部に訓令せり

▲抗州の暴動終息　抗州の排日騒動は全く終熄せり而して當該官吏は外人を保護し居れり（同上）

雜報

朝香宮御贈勳　朝香宮鳩彦王殿下御婚儀に際し韓皇より大勳位金尺大綬章御贈呈に相成る由

就學兒童の現況　在韓國に於ける本邦就學兒童の數は明治四十一年末に於て一萬六百四十六人內男五千六百十五人、女五千三十一人なるが不就學童は男八百九十二人女八百三十八人合計一千七百二十二人にて之れを前年末に比すれば三千三十七人の增加なりと云ふ

親耕御式の光景

韓帝は豫定の如く五日午前九時敦化門出御第二公式鹵簿にて永宣君李址鎔以下各大臣宮內官等を隨へ儀容堂々として順路東大門外東籍田に行幸先着の石塚長官閔分參與官石井少將及完興君李載冕完順君李載覺以下韓國文武官の出迎を受け親耕台に設けたる便殿に入御皇族文武官等に謁を賜ひたる後御少憩あり十時親耕の儀を行はせらるゝや皇帝は皇族大臣等を隨へ親耕后の下に在る二反歩許りの籍田へ歩を進められ親ら一頭の黒牛に牽かせたる來耜を執り通耕耕使尹侍從院卿侍從武官及青衣をつけたる農夫等附添ひ萬歳聲裡に約六十間許りを耕やし玉ひ御機嫌麗はしく玉座に復せられ次いで完興君以下各皇族大臣重なる供奉官等は各鋤を執りて從耕をなし中村籍田令の指揮にて粟を播種せり其れより少時御休憩便殿內にて御晝食あり十一時三十分拜觀の爲め特に入場せしめたる耆民十名（七八十歳の老農）及附近農民四十余名を親しく御前に召し侍從より啓勞耆民との詔を賜ひ酒肴を下賜せられたれば耆民等は感涙に咽びつゝ四拜鞠躬の禮を行ひて祝宴を開き之れにて式全く終り皇帝は十二時東籍田御出發清涼里洪陵に行幸閔大后の靈前に展謁の禮を行ひ午後三時無事御還御あり東籍田構內には前記耆民農民の外各學校代表者十名づゝ入場したるに過ぎざりしが構外には拜觀庶民堵をなし其の數二萬以上に及び頗る盛觀を極めたり尙ほ御親耕後中村籍田令の指揮にて粟を播種せり

●關稅局の調査方針　從來關稅局に於ける貿易及經濟の狀況調査に就ては夫々規定せられたる方針に基き調査し來りしところ今般益々其の事務の刷新を謀り調査を爲すことに決定したる由なるが今其の調査事項に關する方針を聞くに左の如し

甲、貿易狀況　一、外國貿易の現況及其趨向　二、仲繼及通過貨物の狀況　三、沿岸貿易の狀況

乙、產業狀況及貿易の獎勵　一、輸出品の生產及取引狀況　二、輸出品の仕向先に於ける狀況　三、輸出稅及仕向地に於ける關稅其他の負擔　四、輸出品の保護獎勵方法　五、將來輸出品たるべき見込あるもの獎勵方法　六、輸入品の取引及消費狀況　七、輸入品の原產地に於ける狀況　八、輸入稅及內國稅　九、輸入品に代るべき內國產品の保護獎勵方法　十、倉庫營業の狀況　十一、金融其他貿易に關係ある經濟狀況

丙、交通運輸の狀況　一、貿易品の運輸狀況並に之が改良方法　二、船舶鐵道道路其他交通運輸機關の狀況　三、運賃保險料其他の諸掛費並に包裝費

●曹洞宗別院の設置　同宗は禪宗各派の中に於て最多數を占めて有力なるが是迄京城に於て何等の施設もなかりしに今回若草町一丁目に於て兩大本山假別院を設置したり主任には韓國開教管理たる田中望園師補員として仁生那仙及外三名の僧侶常任して大に布教をなさんと儘勵し居れりと云ふ因みに兩大本山とは同宗には越前永平寺能登總持寺（今や東京附近に新築しつゝありて此に移轉せんと準備中）此二大本山の外大本山なく兩本山並立して一宗を組織し優に佛教各宗中に於て一等地を抽く覺悟なりと云ふ

●廳舍及監獄落成期　本年度に於て新築せらるべき地方裁判所廳舍は釜山及び光州地方裁判所、新義州及び淸津地方裁判所支部（以上司法廳所管）咸興、公州、海州地方裁判所（以上韓政府所管）にして何れも本年中に落成すべく又監獄は光州、大邱、平壤、京城の四箇所にして京城監獄を除き本年中に全部落成する豫定なりと云ふ

●警察署長の大更迭　內部は今回更に地方警察署十七ヶ處を增設したるが該署長は兩三日中に夫れ〳〵任命さるべく之と同時に各地警察署長の大更迭を斷行すべく目下詮衡中なるが此機を以て老朽無能の署十數名に諭示免官の嚴命あるべしと

●忠南の飢饉と救恤　忠淸南道廣仁郡は昨年中降雨に次ぎ旱害ありて貧民は殆んど饑餓に瀕しつゝあり之が爲めに同郡守は有志に計り救恤金を醵集し居るが既に三百餘圓に達し本年收獲期迄は辛ふじて千余名を賑恤する計畫なりと云ふ

●監督局長會議誤聞　度支部にては近日各財務監督局長を召集し會議を開催する風聞せるものあるも右は荒井次官の不在中なるを以て其の歸任を待ち開會することに內定しある次第にして何等かの誤聞なるべしと尤も監督局長中には事務打合せの爲め本月末頃出京せるものある由

●愛國婦人救護部會　四日午後二時統監邸下元秘書課に於て救護部會員集會席上山田衛戍病院長は「チブス」菌に就て藤田軍醫監は家庭に關し何れも通俗的興味ある講話をなし閉會後一同統監邸花園を參觀したり

●學校組合設立認可　荒木菊殿外三十六名より申請したる江陵學校組合設立の件及び大內吉兵衛外二十四名より申請したる於靑島學校組合設立の件は五日付認可さる

●免許漁業の審査會　農商工部にては六日免許漁業審査會を開き巨濟島、濟州島及び平安北道の分二百餘件は處分すべしと云ふ

●鐵管延長の決議　仁川水道工務所にては船舶給水用鐵管を稅關第一埋立地棧橋迄延長する事に決したりと

●軍友會の運動會　仁川軍友會にては來る十五日午前十時より元同地守備隊跡にて春季大會を催ふす筈なりと

長峡生に申す

▲長峡生とは京城日報社長大岡力君の雅號なるべし、君熾んに筆を日報紙上に振つて曾禰統監の病氣に就て辨ず其心情素より殊勝なるに相違なきも其爲す所到底愚たるを免れざるや是非なし。

▲統監の病氣は其初めに於て一時噂ありしが如く平井軍醫を當地へ煩したらんには病名も早く判かり從つて治療も今日の如く手後れとならざりしなり、惜むらくは曾禰子自身の負惜しみと不親切なる封圍的近侍者の不注意により病狀をして今日の如く重大ならしむるに到る、而して大岡君の如き近侍者の一人として統監の爲には實に獅子身中の虫なり。

▲子爵の恩顧を受け子爵を命の柱と頼む力君の如き本來ならば常に子爵の病床に侍し我儘なる子爵が藥餌を厭ひ又は不養生を爲さんとするの場合に於ては面を冒してまでも子爵を諫め看護に意を盡すべき筈なり、夫れ是を爲さずして徒らに日報紙上に鎭亥虛報を傳へ以て能事了れりとなす責任は實に君に屬す。

▲世間今日に於て統監の病狀に付君の驅逐と佐竹秘書官の寧報とを信ずる者は一人も之無し、知らず君と佐竹君とは內外相俟つて虛報の散布に勉む、統監府の迷惑察するに餘りありと云ふべし。

▲君が故伊藤公の墓に詣でたるは近頃殊勝の事なり、而れども自働車を驅つた廣告を爲すは愚なり、思ふに君は自働車が珍しかりしならん、谷垂の畑道を自働車に驅られては通行の人が嘸や迷惑をしたらん。

▲旅中回想中谷垂墓參の條に於て君は四五の誤を傳へり、曰く墓所の地積曰く生垣曰く石燈籠併し之等は重大なることに非ず只其れ墓標の記銘を誤り傳ふるに至つては君の無責任を咎めざるを得ず。

▲記者の慥かなる記憶に因れば墓標に記せるは伊藤公之墓也、而るに君は伊藤博文之墓なりと傳ふ、思ふに君は墓標を仰ぎ拜さゞりしならん、盲の弟は道が盲目なり、盲目蛇に恐れずして切りに出鱈目を流布す叱り置くの必要あり。

●豫備金支出裁可　農商工部水產[illegible]印刷費五千圓豫備金支出の件裁可さる

●叙任辭令　左の通り辭令ありたり

任土地調查局測量部長叙勅任官三等　陸軍工兵大佐　土屋喜之助
任土地調查局技師叙奏任官三等　高岡八百千郎
任警視叙奏任官三等　警視廳警部　谷川金一郎
大邱財務監督局管內水利組合實地調査に關する事務囑託（奏任待遇）　武智正次郎

金融組合と倉庫

農產促進の一法として度支部に於ては左記十箇所の金融組合をして倉庫を建設せしむるに決し各建設費二千圓中一千三百圓宛の補助を支出し殘七百圓は各組員をして自辨せしむべく既に設計書は夫々交附濟となり最近各建設に着手さるべき運びなるが尙ほ右十箇所の他同三十所に於て全部政府支辨を以て建設すべく目下詮議中なり

南陽、公州、論山、羅州、光州、順天、安州、晉州、安東、密陽

東拓第二期の決算

東拓會社第二期營業成績は總會迄は一切公表せざる由なるが今探聞する處によれば同期間は尙ほ未だ草創の際なるを以て所謂準備調査のみに忙殺せられ居りしと一は又同社事業の性質上僅々一箇年の時日にては收獲の程度も略ぼ推知し得べく且つ米價甚しく低落を極めたる爲め之を放賣するの機なかりしより現に各地に多額の持米ありて收入を見るを得ざる等彼是の關係上格別の成績を示さゞるは明かなり故に損益勘定の如きも總益金約二十九万圓總損金二十六萬圓差引三萬圓の利益ありしに過ぎず則ち同社事業收入は僅々三萬圓にして是に政府補給金三十萬圓及前期繰越金十万二千三百餘圓を加算すれば四十三萬二千三百余圓となる此內法定の準備金百分の十以上役員賞與及手當金百分の十以下を控除し更に後期へ十九萬五百余圓を繰越したるものが配當金なるべければ結局六步配當ならんと

邦人の煙草耕作（荒井技師の談）

光武九年以降京釜京義鐵道沿線大邱、密陽、三浪津、龜浦、釜山、定州、太田、京仁線沿道素砂、仁川附近牛角洞及馬山線進永等各地に於ける日人農事經營者漸く其數を增し主として穀物蔬果の栽培に從事せしが日本葉原料とせる口付卷煙草の盛況に伴れ在留日本人の煙草製造者等は同原料の供給に充んか爲め附近地に於て異例の高價を以て購入したりし結果耕作者側に於ては他作物に比し煙草耕作の收益大なるものと思惟し漸次耕作反別を擴增するに至り隆熙三年以降に於ては進永、素砂及仁川附近の耕作は自然廢止するに至りしも大邱附近は益々擴張の傾向を示せり左に其狀況を掲記す

▲日人耕作の徑路　韓內在留日本民が販賣の目的を以て煙草を耕作したりしは光武九年即明治三十八年京仁線中素砂驛附近の地に於てせるを嚆矢とす其品質は出水葉にして早霜の爲め完全なる成熟を見る能はざりき翌十年に至り大邱密陽、三浪津地方に日本種煙草の耕作を試みたる結果一反歩平均五十貫餘の收穫を得たり時恰も在留日本人煙草製造人の原料に渴望せる折柄一貫目平均二圓餘の高價に賣行きし結果其地方に於ける日人農業者の同耕作を促進せしめ農商の區別なく翕然として煙草耕作に努むるに至れり降りて隆熙二年に至りては耕作反別劇增し前年の八十町歩は二百十九町歩餘の盛況を見るに至りしも製造人の需要は固より無限の者にあらず加之其間供給者間に於て不正を圖る者且つは品質の一定せざる等諸種の關係上漸く下落の傾向となり茲に耕作者の恐慌となり其善後策とし大邱方面の如きは會社を組織し耕作者自ら製造を創始するに至れり如斯暴落の反響は大に價格の標準を攪亂するに至りしも尙一反歩の收量平均四十貫價位一貫一圓二三十錢を保ち尙は他作物に比し勝る事多く自然の趨勢は益耕作を促進するに至れり（未完）

●新任憲兵將校着任　今回轉任を命せられたる陸軍憲兵大尉玉井八十彦氏同吉田喜郎氏同中尉加藤正信氏同野津宗一郎氏等四日釜山より入京山本旅館に投宿五日憲兵本部を訪問せり其の任地を聞くに左記の如し

釜山分遣所長　大尉　玉井八十彦
馬山分遣所長　大尉　吉田喜郎
鏡城分隊附　中尉　加藤正信
北靑分遣所長　中尉　野津宗一郎

●電鐵工事の竣成期　日韓瓦斯會社が今回計畫せる京城市街電鐵改良工事は既に所要材料も全部到着し近々工事に着手せらるべき筈にて目下準備中なるが今其豫定の竣成期日を聞くに左の如し

鐘路古市町間複線工事　九月初旬
軍司令部通新線布設　八月初旬
黃金町間〃　同
龍山發電所增設工事　十月初旬
客車改造　十月迄

●金融組合增設決定　政府は既設金融組合百箇所の外更に三十箇所を增設する事に決定し敷地其他探定濟にて其場所は漢城、平壤、公州、元山、全州の各財務監督局管內各四箇所光州及大邱各財務監督局管內に各五箇所なりと

●日韓瓦斯釜山企業　日韓瓦斯會社は既報馬山に電燈事業を計劃せる外更に釜山に瓦斯供給を兼營せんと企て既に專門技師の調査を了したり而して其資本金は約十五萬圓を投ずる筈にて近々決定すべしと

●渡邊法院長の巡視　高等法院長渡邊暢氏は六日午前南大門驛發列車にて平壤に赴き同地二泊の上鎭南浦、義州、新義州地方を巡視する由往復約十日間の豫定なり

●山根衛生顧問着任　新に韓國衛生事務を囑託されたる山根正次氏は四日東京を出發七日着京の豫定にて當分南山町曾我勉氏邸に居すと

●信夫淳平氏の着任　前仁川理事官にして墺國大使館附一等書記官なる信夫淳平氏は先月三十日維也納に着任の旨其筋に通知ありたりと

●岩崎民長の出張　岩崎仁川民長は師團司令部訪問の爲め一昨日龍山に出張

●大谷顧作氏入京　製鐵所書記官なる同氏は一昨日入京天眞樓に投宿す

●製鐵技師等入京　製鐵所技師服部衛三宗像宗十郎兩氏四日入京天眞樓投宿

●八田教授の入京　水原農業學校教授八田吉平氏四日入京巴城館に投宿す

●大霜賢貢氏來京　明治生命保險會社長崎支配人の氏は四日入京巴城館へ

▲治外法權▼

此頃は陽氣の好いせいか觀光外人の來城するものが中々多いアストルハウスやソンタクホテルはイツモ滿員の樣子だ、安寧線や遠路が思ふ樣でない今日でさへ是だから愈完備したら嘸澤山に來ることだろう▲外人觀光客の澤山來ることはドノ點からも有益の事だ、將來益多く來る樣にしたい、夫に就て考慮を要するはホテルの設備と案內者の人選だ、統監府や鐵道管理局が現在ヤツて居る位の事ではドウも充分とは云へない▲外人經營のホテルへ宿り韓人の案內人を連れて京城の事物を觀察した觀光外人が如何なる印象を受けて去るかはドツしても考へ者だ、此邊の消息は統監府にも判かつて居る筈だ、英文機關紙や英文年報を出す熱心があるならホテルや案內者の事も何とかしたら良からう此の問題は小なる樣だが、と云つて閑却は出來ない▲當地商人中古顏の一人釘本藤次郎君曰く今より數年前に在つては自分の店前を通過する邦人の顏は十の七八迄は大抵自分の知れるものゝみなりき、而るに今日に於ては店前の邦人は大抵知らぬ顏の者のみとなりし之を以て是を見るに京城には過去數年間に幾萬の新分子入込めるなり、豈ボンヤリとして居られんやと▲記者思ふに釘本君は遠かに成功者なり、通例古顏の人は新分子を侮つて油斷するものなるが君が店前通過の邦人を見てボンヤリして居られざる所以を悟り營業に社交に新思想を注入しつゝあるは感服の至りだ、ドウカ他の古顏先生連も斯くありたいものだ。

名妓洗髪のれ妻(三)

▽眞裸体で寫眞を撮る
▽都新聞へ取消都々逸

其時の私の嬉しかつたのは今に忘れませんね新橋から七張の幕が初日前から中洲に飾られてある、新川の鹿島さんが積樽をして下さる、樂隊が出るといふ騒ぎ、夫れで吉野屋では市村とは云はね、澤村訥子ならばしん樽を廻はさぬと云つたのだなんて、好い加減な事を云つてゐましたが、其んなことは何うでも好いが大人氣で嬉しかつたね鹽屋、花家、濱の家、中村家、花月、蜂龍などが骨折つて呉れましたよ其折の狂言は家橘の放れ駒の長吉でした、中洲あつて、以來の人氣でしたね▲斯んな様子ですから私も其れだけの事はせねばならぬので市村の配り物に私は三百圓で買つた七絲緞の帶を引裂いて袋入を作らして贈らうとしましたが、五十しか取れない、殘りは皮を柔さして渦巻の紋所にかきつゞ散らし書のを作りまして贈り、芝居が樂になつてから役者一同を引連れて箱根へ湯治と洒落れたのです、櫻井繁遊なども行きましたが、此の箱根行が又大亂痴氣なので、市村も私も眞裸体で瀧壺で巫山戯てゐるのを寫眞に撮らした事がありましたよ▲あ、それから其時の事を何かの新聞に書かれて大閉口しましたがね、十年程前でした都新聞に私が情夫を拵へて狂ひ廻り五六千圓の借金をこさへ花の家が公賣處分になつたなどいふ事が出ましたが、其折何も色男に狂つてゐたわけぢやありません斯んな苦界ですもの、五六千の借金はありますあね夫れで私は都々逸入の取消を出しましたつけオホヽヽ考へて見ればもう一昔ですね▲さあ其處で一つ甘い處で、私が市村と花魁ごつこをした他愛のない話を致しませう▲他愛もない花魁ごつこ、餘りに甘すぎるので少々面伏せな處もありますがねオホ……何も若かつた昔語り二人共若い血潮の阿呆の頂上の頃でしたがね、もう〳〵夢中ぢやありませんか、何んな遊びをしたつても遊び切れないばかりぢやない、何うすれば面白いだらう、斯うすれば面白いかと色々阿呆を盡して頃ですから、花魁ごつこなんか出來たのですね、正氣の沙汰ぢやないわ、まア聞いて下さいね

▲れ妻の取消都々逸

左は本文中にあるれ妻より都新聞に申込みたる取消都々逸なり

人のせんきを
やむよなひまが
あればみやこも
らくなもの

藤井太郎と笑子

▽太郎氏とパプテスマ
▽清水席の笑子の懸嘆

昔年は火を覓めて煙に和して得、今日は泉を擁ひ月を帶びて歸ると言ひしにも喩へつべきか會つては酒なくて何んの已れが女哉とか女なくて何んで此の世が面白からう酔せ押へよ唄へよ舞へよ兎角浮世は色と酒アヽコリヤ〳〵リヤサツてな事が過ぎたるより昨年二月頃韓人某倭なるものを紿き一萬圓に相當する土地文券を騙取せんとしたりとかの廉にて其の筋に訴へられ爾來京城地方裁判所伊藤檢事の手に取調べられ數回家宅捜索迄受けたる艶辨護士藤井太郎氏は今般證據不充分にて豫審免訴となり青天白日で仰ぐ身となりしに付きては相も變はらずコリヤサノサを勵行さるゝ事と思ひの外此の打撃により心機全く一轉したりと覺しく一昨三日木原牧師司會の下にパプテスマを受け基督教信者と成り濟まし斷然禁酒禁淫を決行する都合となりしとは結構な次第なるが、玆に哀れを留めしは例の清水席の笑子にてそれ豊きには乾かぬ今日此頃彼れは太郎氏の此の決心を聞くと同しく只泣きに泣き朽折れしとはイヨ御尤もとも云へぬ仕儀なり

寄贈強請取締(勵行)

▽料理屋旅館等の福音

從來芝居寄席相撲其他興行を爲す者にして警察の爲め料理屋飲食店宿屋其他各商店有志家等に對し招待券若しくは優待券を配付し置き興行後見物に行きしと有無を問はず各戸に付き金錢の寄贈を要求し頗る迷惑を感せしむる弊害ありたるを以て明治三十九年四月統監府令第十號保安規則に依り嚴重に之を取締り居るも不係種々狡猾なる手段を回し敢て非行を[illegible]あるを以て當該官憲は[illegible]取締り根本的に弊害[illegible]由に付右等迷惑を感[illegible]り口頭なり隨時敏速[illegible]住所氏名を警察署に[illegible]

太神宮の例祭(仁川)

▽[illegible]

仁川日本公園大神宮にては來る十、十一の兩日例年の如く[illegible]其他種々なる[illegible]に於ては往復二割引乘車券を九、十、十一の三日間發賣する由なれば當日の盛況は豫想外なるもあらん

●無職業者の窃盗

鹿兒島縣平民當時太平町一丁目[illegible]職宮國堅一(三二)[illegible]治利雄(三二)は何れも住所職業を有せず共謀して本年四月[illegible]町尾家某方に[illegible]郎方にて銀側懷中時計一個(代二圓)[illegible]十七日旭町二丁目[illegible]赤地反物一反外[illegible]二十三日朝鮮日[illegible]代價十九圓八十錢[illegible]物品其の他自轉車[illegible]南大門通り高等小[illegible]徒の所有品數點[illegible]を働き何れも贓[illegible]物屋に賣却し費[illegible]事に探知せられ[illegible]べ中なり

●白人淫賣買說諭

旭町三丁目清水忠太郎龍山本町四丁目松本利一の兩人は何處で飲んだか泥醉して白人淫賣[illegible]四日午后九時頃[illegible]ミスレータ方に[illegible]低いの問着より[illegible]を蹴りとて太[illegible]り巡査出張取調[illegible]付清水松本を說諭して放還

●人夫に雇れ窃盜

初音町一丁目[illegible]轉住の際南部新[illegible]駐作業朴聖吾[illegible]び運搬中鍋一[illegible]より朴が窃み[illegible]暖昧にて怪し[illegible]出したるより[illegible]四日より留置取調中

●馬に破傷風發生

[illegible]蘇模範場の[illegible]に破傷風發生したるを以て農商工部の[illegible]四日[illegible]起き血精注射を行ひたる由なるが其結果は未定なるも馬の破傷風に此療法を行ひたるは之が嚆矢なりと云ふ

●大興山寺の燒失

開城北東面の山城大興寺は有名なる古刹にして目下は參詣人も多數ある由なる四月二十七日午前三時頃參詣人が佛前に供したる線香の火より失火したるものゝ如く本堂及び附屬建物三棟を燒盡し半燒二棟に及び本堂に安置したる佛体は全部燒失し損害額は五千圓以上なりと云ふ



女振り

伊藤組女將　伊藤のぶ女

御稼業柄如何に我慢しても内儀さんでは調和が惡い、ナヲバ姐御とでも呼びたいのであるが夫れは餘りでもある、女將所で辛棒して貰ひもし又辛棒もして置かう、友松君は肥前の島原で、のぶ女は鯱チリで有名な馬關から一寸引つ込んだ土地の舊家の娘である、古い所は拔きとして現在の所を紹介した方が善い、元來友松君の家では時々代つた顔を見るものだから誰れが何うだか判らないと云ふものがある、是れは女振り子の附けたりではないので現在友松君の妹さんが兄さんにも困りますよ、ムニャ〳〵と云つたのを聞いたことがあるから仕方がない、其所で友松君は例の調子でガミ附くと背後かられのぶさんが甘い工合に押へて行く、挽子なぞはた金の話しは女將さんに限ると云つて居る、一僻も二僻もある二百人からの壯丁をピリッとも云はさず、兼ねて公共事業にも尠なからず盡瘁する友松君も偉いが其の背後に居る女將の内助の功を沒してはならぬ、壯丁に無駄遣ひをさせぬ爲めに酒保を設けて自身經營の衝に當つて居るなぞは巧手いものだ、年は四十六で立派な男の子さんもある、稼業は益々發展する、モウ樂なもんだ、生花を山縣さんにれ習ひだがモウ素人放れがして居るそうな。

●本願寺婦人總會

南山本願寺にては婦人法話會京城支部創立以來會員著しく增加したるにより今回相互の懇親を計る爲め六日午後一時半臨時總會を開く由なるが總會次第左の如し

開會の辭、祝辭又は演說、寫眞(服裝は隨意の事)餘興(琴、琵琶、生花等)接待

●米倉町大火後報

四日南米倉町の韓人市場大火後殘火炎々として燃へ居るより司法廳官舍其の他附近の家屋危險に附西部署に於ては捨て置けず[illegible]四日午前より晝夜警戒し消火に盡力しつゝあり

●檢黴●

仁川敷島遊廓に於ける四月中の揚高は僅に四千五百余圓なりしと

目と耳

▲浪花館の落語一座

明治町浪花館は今回東京落語家三遊亭若遊三一座を招き來る八日初日開場の筈なるが一座は落語の外電氣應用所作事を得意とし毎夜大切りに之を附し其外音曲、手踊り、曲藝等で頗る陽氣揃ひなりと云へば定めて好評を博するならん尚ほ初日藝題左の如し

明石名所 三遊亭若三郎 一ト目上り(三遊亭遊枝)壽限無(同若明)滑稽密柑賣(笑福亭圓三)十德(笑福亭笑三)盲景淸(桂文當)かくれ蓑(喜劇)(座員總出)三保ノ松原天人物語、小倉幸兵衛(三遊亭若遊三)大切所作事電氣應用早替り

▲歌舞伎座

木村一座今六日の代り狂言は同一座の十八番「そで時雨」全九幕にて重なる役割左の如し

川瀨靜代(野村君子)遠山春子(澤井萍華)やゑ(小寺田靜子)くに(阪東幽子)山本ソノ(石井)女中れ松(千葉)大川(千代田)遊人銀次(渡邊)書生(岡村)書生(高田)紳士(村山)川瀨順一(内田)下女(奥山)下女(楠)乳母チカ(福澤)川瀨順策(富士井)書生(小田)遠山哲夫(榎本)柳井力(寺田)驛長(東)高村三郎(三好)判事川尾(白石)又野三太(廣瀨)遠山一造(桃井)山崎武夫(木村)

●壽座●

中村時子一座今六日の替りは藝題一番目「平假名盛衰記」清水屋より逆櫓まで中幕「傾城反魂香吃又平」なり

廓のうはさ

櫻桃の色既に褪せ若葉の蔭漸く涼しく藤や牡丹の時節とは相成り申候、此の時に當りて百花研を競ふ新町遊廓に於ける渠等が情勢を報導する強ち無用の業にあらざるべくと存じ候▲新町遊廓一と自稱美人皆春樓の吾妻は歸還師團の將校龍山引揚げ後未だ後補者が出來ぬとて煩悶致し居り候▲同樓の花子は戰鬪力を失ひ蟲の頭より新町衛戍病院へ後送され木登り遊びども爲し居りしが此れも歸還師團の○藤伍長さかと深い間となり居りしより出發當日○藤伍長は病院に花子を訪ひ悲愴の訣別をなしたる由に候▲玉家の靈は此度奇麗薩張りと泥足を洗ひ五日限り廢業したりとの事に候落籍く先きまでは詮議の限りにあらず候▲第一樓本店の九重は容貌は餘り感服する程ならざるも一度買ふたら忘れ切れられぬさは御馴染客の惚け話しに候(廓雀)

木村一座の藝風(二)

▲女形の皮切り▲短銃物の持切り▲毒婦の成効▼

當時壯士俳優の女形としては天下一品の山口定雄わりしも同優は元密派の俳優として一座の頭目を有して居たものだから是れは別として所謂壯士出の荒くれ男では木村が始めてゞあつたそうだ、而かも彼れの優さ変は適切り女形に適せり殊に意地の惡い性格を發揮して段々と勉強するに隨つて毒婦の役に尤も趣味を持ち且つ着々と向上した、最初の役は前號に記した通り盜判事の梅次であつたが、後らには又意外の辰子、或は三ヶ月れ六杯とピストル物の大流行時代には京阪の地に於て殆んど毒婦は木村の專賣物となつた、今でこそ体量二十余貫の肥大漢なれど當時は優形のスンナリとした中々意氣な恰好をして隨分持て囃されたものだ、そこで彼れが毒婦として甘い處は顔の凄味よりも仕草の憎々しきよりも寧ろ辯舌にあつたのである、つい一昨夜も歌舞伎座で演じた孃れ高の如きも、玄關で見現はされて後ち頭株の俳優をズラりと並べて其眞中で獨り啖呵を切る處杯溜飲の下がる心地がして、概して同優は地を賣る事が上手であるから下流の觀客をして得心せしめる、されば壯士芝居又は書生俳優と云つた時代の看物には此上なく喜ばれた、最も現今の如く所謂新派と稱して段々西洋化した今日では必ずしも木村の形が宜しきや否やは疑問なれど當時の形を傳へて居るのは實に優を除いて外に無い、されば后進者は彼れを見て大に參考とすべき價値あるを惜まず、斯の如く駄劇役者として成効せる彼れは又一面時世の進歩と共に大に西洋趣味を研究し且つ自己の体格が肥滿したと共に女形を避けて老役或は實惡から三尺物何んでも御座れと演じて居る、是れ彼れの遂に凡ならざる處である(續く)

今日の運勢

五月六日(舊三月廿六日)●八白●佛滅辛未滿△一白 進鑑多き日諸事控へ目にすべし旅行出帆動土建築を忌む△二黑 助力應援を得るなり共力同心の事に適す保證引受の類を避くべし△三碧 轉倒に終り易し紛爭和解熟談婚姻養子の談效少し旅行貸借凶△四綠 陰鬱の日新事見合すべし伐木製材動土整理改革に適す△五黄 平靜の日なり虛飾自負及業務に疎漏遺脱ある勿れ△六白 增益の日快報若くは收利あり披露開店業子孫の爲めの事に良好△七赤 感通の日相談依頼金談貸借に良し色情酒客の難を戒しむ△八白 厄日なり兩端に迷ひ分別決定執り外し易し保證世話事を禁す△九紫 隆升の日大抵吉旅行出帆見合すべし(本町五丁目三一館新判)

●訂正

昨紙南米倉町火災記事中の内居留地消防の出動を三時十分とせしは一時四十分出動の間違に付き訂正す

美術半襟帯締其他紙類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九
ゑり徳商店

廣告

昨晩近火の際は早速御駈付け御見舞被下難有奉鳴謝候一々拜趨御禮申上べき筈の處混雜中御尊名伺洩も有之やも難計候付乍畧儀以紙上御禮申述候
五月五日
京城相生町
京城梅毒病院
産田耕平
電話一二九四番

謝近火御見舞
南大門通二丁目
歐米雜貨
洋家具商
藤木支店
電話五八三番

謝近火御見舞
京城南米倉町
食料雜貨商
北原商店

謝近火御見舞
京城南米倉町八十一番戸
洋菓子
製造業
牛島倉太郎

謝近火御見舞
京城米倉町
櫻屋旅館
電話三百十二番

謝近火御見舞
京城米倉町(南大門通一南入)
井上看板部

謝近火御見舞
京城相生町
南門湯

移轉廣告
美術水晶篆刻……印章ゴム印版木其他一切
轉居の爲め祝意を表し水晶時計さげ(襟紐)印一千個に限り一字二字刻印材共
大減價金壹圓也
京城明治町(明洞)一丁目七十九番戸
諸官衙御用印舖
金石山房
最上栖堂

内科
小兒科
入院
隨意
京城日の出町小學校前
多々見醫院
電話九百四十番
從七位勳六等　前大韓醫院醫官兼同附屬醫學校教授
醫學得業士　院主　多々見五郎

はり、やいとう
電氣マッサージ
龍山新市街柳町二丁目(電話六四二)
中口由治

木材賣却廣告
一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
京城旭町三丁目
建築業　柴田芝六
電話五百六十八番

産婆開業廣告
見習生を募集す
年齢十六歳以上にして高等小學卒業以上の學力又は同等の學力あるもの本人直接來談
京城旭町二丁目百四十五番戸
内務省免許産婆
村松たけ

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

概略營業品目
和洋帳簿諸紙類
文房具學校用品
卷紙封筒手帳類
帽子洋傘クツ艶
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛馬車掛
石鹸香水齒磨類
タオル、ハンカチフ
手袋沓下袋物類

正札　一　引なし

官衙、陸軍、銀行、會社
御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
電話二百〇六番
和洋雜貨
卸小賣商

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

素人球技大會
開會來る五月六日七日八日三日間
會場　京城南山町四丁目
巴州亭玉塲
電話六三八番
會費金壹圓五拾錢
賞品
壹等　改元金壹圓金メタル百圓與服券
貳等　米國ウヲルサーム十二サイズ無双金時計
以下十等迄其他特別賞寄贈品等も有之候

假移轉廣告
弊店儀今般業務擴張の爲め新築致候に付工事中左記の處へ移轉し營業仕候間此段謹告候也
京城本町二丁目
(從來營業所向側西へ十一軒目)
和洋金物商
佐野彦商店
電話一六三番
振替韓國一二〇番

韓國銀行
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、咸興、羅南、安東縣、
爲替取引先
日本(東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、廣島、
韓國(公州、光州、晋州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、
清國(義州、大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、漢口、上海、
其他外國(香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

弦齋流割烹に歌舞伎辨當
材料の豐富と技倆の熟練は割烹界に於ける弊店の特色に有之候
南山町一丁目(電話一五〇二番)
すゞはな
出前の儀は電話又は一報次第即刻持參可仕申候

營業品目
琴、三味線、尺八、洋琴、鐵琴、横笛、月琴、明笛、三味線張替修繕並に小道具類は特に大勉强
壽町三丁目(本町五丁目郵便ポスト前)
米川三味線店

消毒牛乳(保證附)
フレッシュバター(新鮮乳油)
韓國畜産株式會社
南大門外　電話八八番

各科診療
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
入院隨意

各科診療
入院隨意
龍山元町二丁目
佐藤病院
(電話一〇三番)

眼科專門
京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院
(電話三三)
前漢城病院眼科部長
醫學得業士　江頭富雄

●襖並に表裝一式
材料販賣
勉强
龍山大島町
尾崎表具店

電話一一八二番
きちや
京城曙町
大槻商行質部
金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は叮嚀に取扱極めて安全に一定の場所に保管す
流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番
四九二番
日本室和食
特等(三圓五十錢)
一等(二圓五十錢)
二等(二圓五十錢)
三等(一圓五十錢)

値上廣告
韓語大成
一部一圓八十錢
郵送料十五錢
從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正増補致候間前記の通り値上候也
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番
振替貯金口座韓國二五六番

京城明治町二丁目(佛國教會前)
辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

明治廿年七月創立●
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓●
京城代辨店　本町四　山口呉服店　電話九番
事務所　京城南大門通二　電話一〇六〇

金魚各種
卸小賣
陸軍御用達
龍山山下町二丁目(兵器支廠官舍入口)
馬木勇吉本店
電話三六四番
茶器商
京城本町五丁目一番戸角
馬木勇吉支店
電話四七一番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一一五番)

會席御料理
北米倉町　電話千六百二十四番
品川樓
各位の御引立に依り日々繁昌仕候段誠に難有奉存候就ては聊か御眷顧に酬ゆるの方法として今般東京淺草ロックにて有名なる岩壽しの名人を板場に雇入れ候に付き花見御遊山等の御壽し御辨當は至極御手輕にて精々相働き候間何卒御用仰せ付け被下度願上候

京城櫻井町五十七番ノ一(電話一二五五番)
東出洋服店

特約販賣
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
自製
支那白菜漬
朝鮮菜葉漬
大賣出し
(電話二五一番)

内外科
花柳病
入院
隨意
京城南大門外
戸田病院
電話九三八番

きゝめのある
温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、頭痛、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷温泉
電話千四百十一番

名家揮毫 明治町壹丁目
新疊及表替調進
井上秀太郎
電話……番

本院は毎日(日曜及祭日を除く外)午前九時より午後四時迄各專門醫に診療を依頼す
但松村和田兩先生の診療時間は午前九時より正午迄とす
龍山居留民團囑托
龍山榮町文平山麓
龍山醫院
(電話六〇三番)

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐ヂシン
穀物食鹽
諸染料類
委託販賣
東京ランバーメ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺灣合資會社食鹽特約
藤田合名會社
本社　京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所　東京京橋南鍋町一丁目(電話新橋三六九二)